

01

アセスメントの基本と実際の支援への活かし方

～行動の背景を探るポイントを中心に～

前編

アーチル発達障害基礎講座 第一部①

令和8年 アーチル発達障害基礎講座

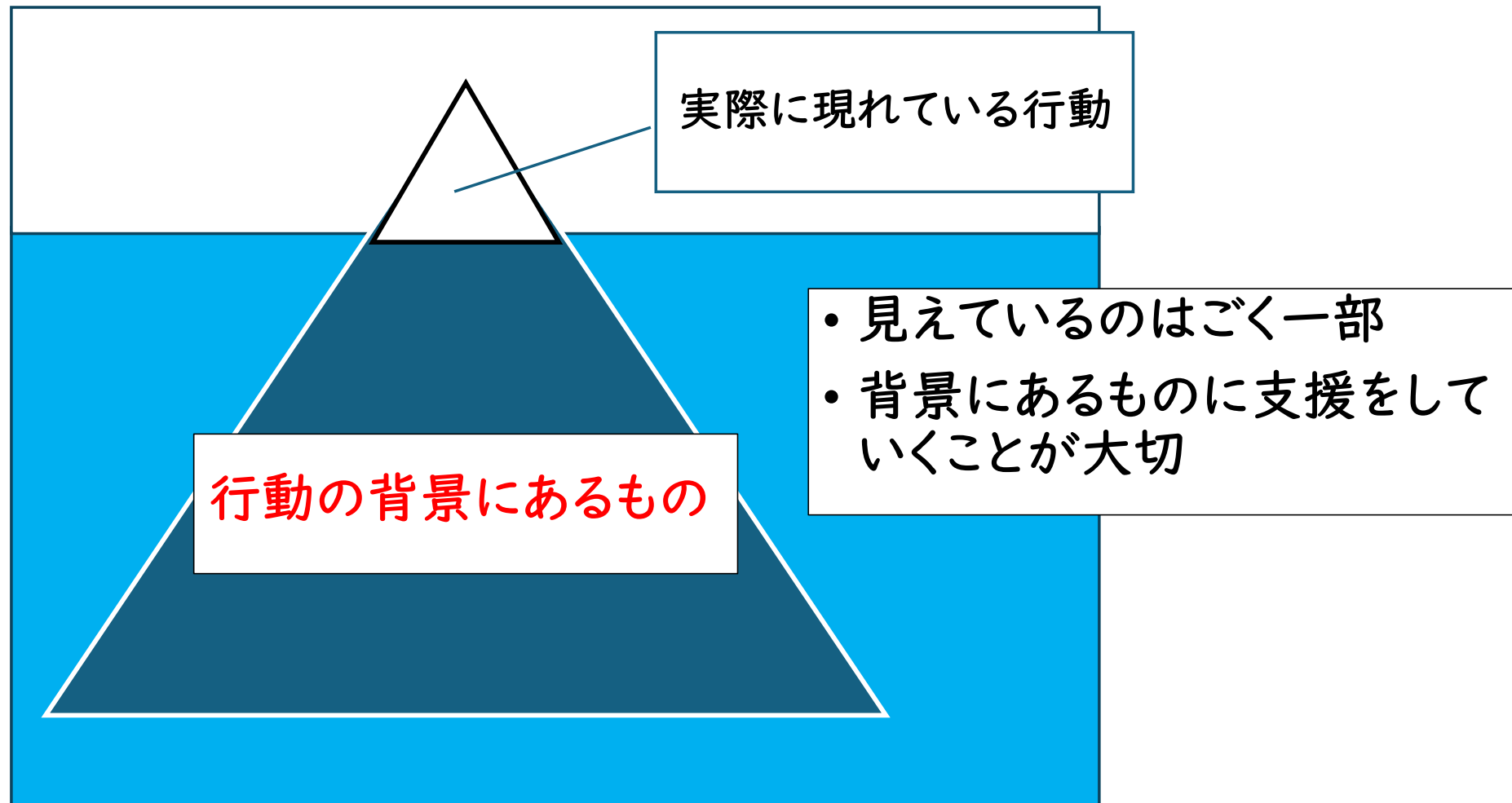
アセスメントの基本と
実際の支援への活かし方
～行動の背景を探るポイントを中心に～

南部発達相談支援センター 学齢児支援係 佐藤

なぜ、行動の背景を探ることが大切なのか

- 対応がうまくいかない時ほど、行動の背景を探ることが大切
- 一見同じ行動に見えても、理由はさまざま
「理由」が異なれば、適切な対応も異なってくる
- 行動の背景にある「本当の困りごと」を解決するイメージ

目に見える行動の背景にあるものを探る：冰山モデル



表れている行動は同じでも・・・

カッとなって、相手に手を出してしまう

ささいなことで
興奮しやすい

睡眠不足

ルールに厳格で、
守らない相手は許せない

周囲の大人の
関わりの問題

嫌な気持ちを表現する言葉を
知らず伝えられない

自分の決めたやり方で
やらないと不安

その場面だけではなく、本人を取り巻く情報を整理して、
本人の行動の背景にあることを「仮説立てて考える」ことが大切

ちなみに、アーチルの相談では・・・

本人の行動の背景を整理

これまでの育ちの様子

所属先・家での生活の様子

本人の振る舞い、行動、
発言、悩みごと

理解面の状態、特徴
＝知能検査等の客観的な評価

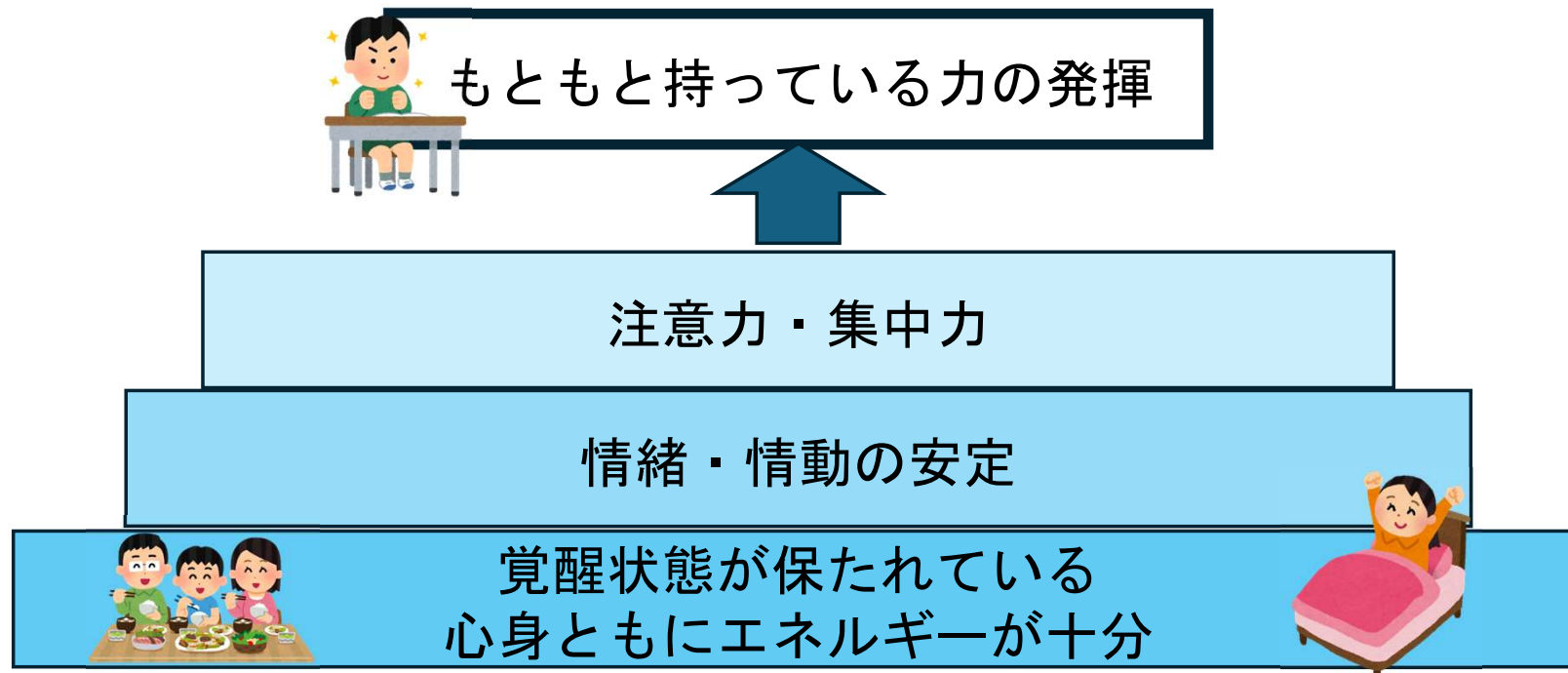
生活のなかでの
困りごと

本人の特性に沿った
対応

背景を探る①生活リズムを知る

基本的な健康状態、生活習慣が本人の様子に大きく影響する

- 睡眠、食事といった基本的な生活の整えができているか
- メディアの過剰視聴などの問題はないか
- スケジュールが過密であるなど余裕のない生活になっていないか



背景を探る②人間関係や環境を把握する

- 身近な人との関係性から起こる問題は少なくない
→こどもの行動に影響を及ぼすこともある
- 「適度な」自己肯定感が育まれるためには、人間関係の中で認められる経験が必要
- 「周囲が本人に求めること」と、「本人ができること」のバランスが崩れれば、適応の問題につながる
- 過剰に頑張って適応している、という問題にも要注意

背景を探る③本人の思いを聞く、把握する

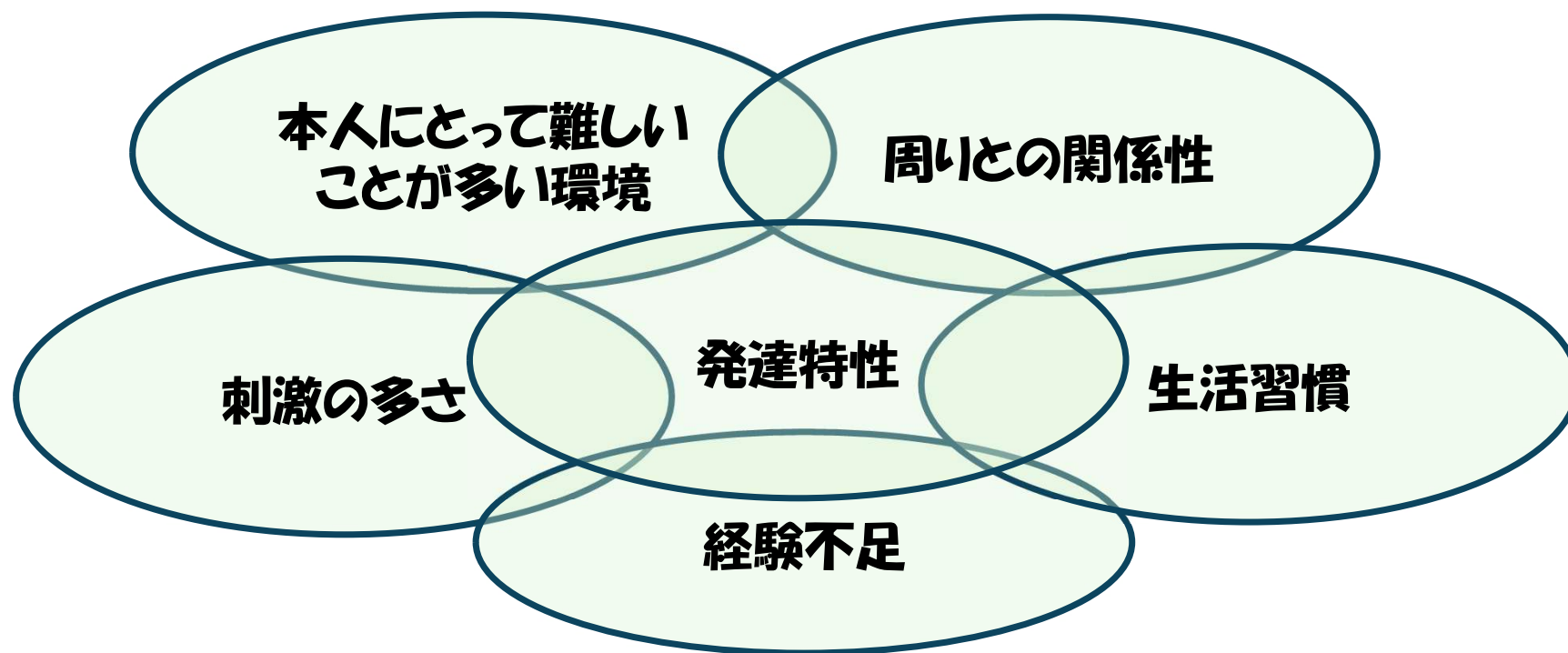
- 本人が現在の生活をどう捉えているか
 - 得意なこと、興味があること、好きな活動、ホッとできる時間
 - 苦手なこと、嫌いなこと、疲れてしまう時間
- 困った時、本人なりにどう対処してきたか
- 本人自身はどうなりたいと思っているか（現在／将来）
- 言葉で伝えられない思い：表情、態度、実際の行動
- 聞き方の工夫：点数化、表情の絵で選択 など

背景を探る④特性や得意不得意を把握する

- 第三者からの情報、客観的な情報
 - 知能検査の結果、専門機関の見立て
 - 幼稚園や保育所の連絡帳、学校の通知表や標準学力検査の結果
- 普段の様子からわかる情報
 - コミュニケーション、関係性の状況（対こども、対家族、対先生 etc）
 - 生活面の状況：物の管理、整理整頓、お手伝いや家事能力
 - 学習や活動への参加状況：具体的な取り組み方、態度、興味の向け方
- 生育歴・生活歴：複数の場面で継続して見られていることかどうか

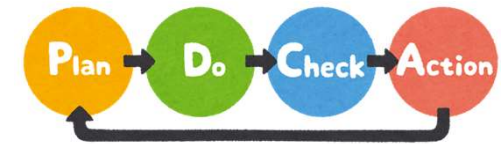
背景を採る⑤背景は相互に影響し合う

- 背景は単一であることのほうが少ない
- 悪影響だけではなく、良い影響ももちろんある



背景を探る⑥仮の見立てからスタート

- PDCAサイクルで見立てを見直していく
仮説を元に支援内容を考える
実際に関わってみる
振り返って、支援内容を修正する
また、実際に関わってみる



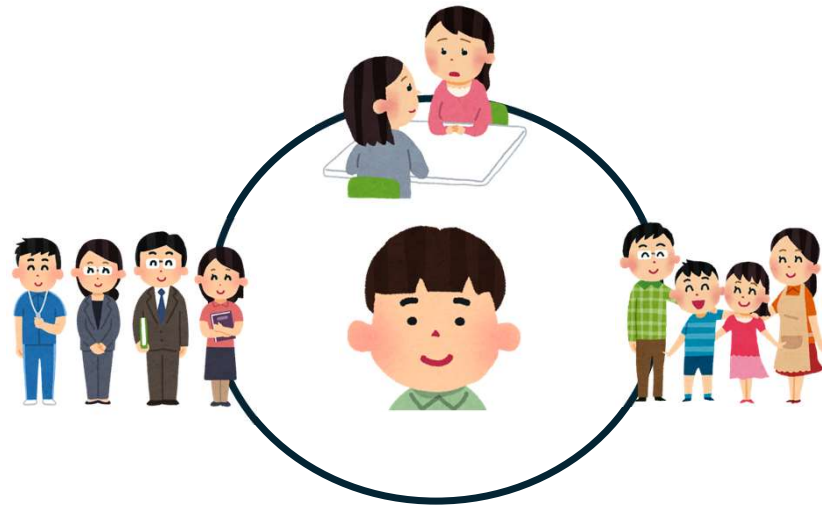
- 本人の成長の結果として、課題点や見立てが変わることもよくある



- 複数の目で、様々な角度で見直していくことも大切

背景を探るポイントのまとめ

- 本人の行動を探るポイント: 冰山モデル
- 生活面、環境や人間関係、本人の思い、特性・・・いろいろな要因が相互に関係
- まずは仮の見立てからスタート→見立ての精度を上げるだけではなく、成長に伴う見直しも必要
- 複数の目で、多角的に本人を見ることが大切



アセスメントを支援に活かすポイント

- 本人の立場からどのように世界が見えているのか、これまでの過ごしや複数の場所での行動から仮説を立ててみる
- 困難さの克服に着目せずに、本人の良さ・強みを探り、そこを活かしていくことを意識する
- 自己有用感、自己肯定感が保てることを重視する

第一部「アセスメントの基本と実際の支援への活かし方 ～行動の背景を探るポイントを中心に～」

- ★ ① 前編（講話）
- ② 後編（事例）

第二部「アーチルの役割機能と関係機関との連携による地域支援」

- ① 発達相談支援センター「アーチル」とは
- ② アーチル相談の現状と課題について
- ③ 地域での発達支援充実に向けた関係機関との連携

＼他の動画もご覧ください！／



アンケート

ご協力お願いいたします

今後の参考にさせていただきますので、アンケートのご協力をお願いします。
皆様のご意見をお待ちしております。

期間: 令和8年12月31日(木)まで

方法: 右記二次元コード又は概要欄URLより
ご回答ください。

